

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																												
1	質問 (一問一答)	7 安原 透	<p>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についての補正予算の事業費用についての考え方について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>今年度のイベントや行事ごとについてはこの緊急事態宣言も出された中で直近の目先から中止になった事業の費用を予算に組み込んでいくのではなく、今年度の行事をすべて中止するというように決めて、その中止した事業の費用をあてていくべきであると考えている。市長の所感を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 特別定額給付金給付事業について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>給付金給付申請書が、5月11日（月曜日）市民の皆さまに発送された。オンライン申請を済まされた方も合わせて事業の進捗状況について伺う。</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(2)</td> <td>未申請者の状況をどのようにとらえているのか。</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(3)</td> <td>未申請者に再アナウンスするのか伺う。</td> </tr> </table> <p>3 野々市市事業継続緊急支援金について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等による来客数の減少などで影響を受けている小売店、飲食店、理美容店等に対し支援金を交付する支援事業であるが、現状何件の応募があるか伺う。</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(2)</td> <td>約1000件の支援を見込んでいるが、現状をどう捉えるのか伺う。</td> </tr> </table> <p>4 子育て世代の生活支援について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>小、中学校の長期休業に伴い学校給食が無くなり、食費の負担が増大したことによる家計圧迫を少しでも支援するためのメニューとして、食費支援名目の支援を検討すべきと考えるが市長の所感を伺う。</td> </tr> </table> <p>5 本市の「新しい生活様式」の実践例について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>新型コロナウイルス感染症専門家会議からの「新しい生活様式」の提言を踏まえ、本市としての、市民のための「新しい生活様式」をお示し頂きたい。</td> </tr> </table> <p>6 本市のこれからのイベント開催のあり方について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>今後の本市の活力再生の力となる人の集まり、これからのにぎわい創出となる本市イベント開催について、民間事業者が開催するイベントを含めた全体的な開催のあり方の考え方と、収容率、人数制限等、出来るだけ具体にお示し頂きたい。</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(2)</td> <td>石川県が示したイベント開催制限の段階的緩和について、市長の所感を伺う。</td> </tr> </table> <p>7 市長メッセージの発信の今後について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>緊急事態宣言の解除に当たって、またこれからの新しい日常について、市民の皆さまがこれからも市長からのメッセージを期待されていると思うが、市長のご所感を伺う。</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(2)</td> <td>本市の感染症対応や経済対策を市長から発信することが市民や事業者にしっかり受け止めていただくことになると思うが、市長の所感を伺う。</td> </tr> </table> <p>8 ギガスクール構想児童生徒の学習支援について</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(1)</td> <td>本市内児童生徒が1人1台タブレット端末を持って学習するまでの「ロードマップ」を教授いただきたい。</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">(2)</td> <td>ギガスクール構想で子どもたちが1人1台タブレット端末を持ち、情報社会に正面から向き合うことになる。これから子供たちのメディアリテラシー向上のために「スマホやICT端末を使いこなす運動」くらいのことに取り組んでいく必要があると考えるが、市長のご所感を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	今年度のイベントや行事ごとについてはこの緊急事態宣言も出された中で直近の目先から中止になった事業の費用を予算に組み込んでいくのではなく、今年度の行事をすべて中止するというように決めて、その中止した事業の費用をあてていくべきであると考えている。市長の所感を伺う。	(1)	給付金給付申請書が、5月11日（月曜日）市民の皆さまに発送された。オンライン申請を済まされた方も合わせて事業の進捗状況について伺う。	(2)	未申請者の状況をどのようにとらえているのか。	(3)	未申請者に再アナウンスするのか伺う。	(1)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等による来客数の減少などで影響を受けている小売店、飲食店、理美容店等に対し支援金を交付する支援事業であるが、現状何件の応募があるか伺う。	(2)	約1000件の支援を見込んでいるが、現状をどう捉えるのか伺う。	(1)	小、中学校の長期休業に伴い学校給食が無くなり、食費の負担が増大したことによる家計圧迫を少しでも支援するためのメニューとして、食費支援名目の支援を検討すべきと考えるが市長の所感を伺う。	(1)	新型コロナウイルス感染症専門家会議からの「新しい生活様式」の提言を踏まえ、本市としての、市民のための「新しい生活様式」をお示し頂きたい。	(1)	今後の本市の活力再生の力となる人の集まり、これからのにぎわい創出となる本市イベント開催について、民間事業者が開催するイベントを含めた全体的な開催のあり方の考え方と、収容率、人数制限等、出来るだけ具体にお示し頂きたい。	(2)	石川県が示したイベント開催制限の段階的緩和について、市長の所感を伺う。	(1)	緊急事態宣言の解除に当たって、またこれからの新しい日常について、市民の皆さまがこれからも市長からのメッセージを期待されていると思うが、市長のご所感を伺う。	(2)	本市の感染症対応や経済対策を市長から発信することが市民や事業者にしっかり受け止めていただくことになると思うが、市長の所感を伺う。	(1)	本市内児童生徒が1人1台タブレット端末を持って学習するまでの「ロードマップ」を教授いただきたい。	(2)	ギガスクール構想で子どもたちが1人1台タブレット端末を持ち、情報社会に正面から向き合うことになる。これから子供たちのメディアリテラシー向上のために「スマホやICT端末を使いこなす運動」くらいのことに取り組んでいく必要があると考えるが、市長のご所感を伺う。
(1)	今年度のイベントや行事ごとについてはこの緊急事態宣言も出された中で直近の目先から中止になった事業の費用を予算に組み込んでいくのではなく、今年度の行事をすべて中止するというように決めて、その中止した事業の費用をあてていくべきであると考えている。市長の所感を伺う。																														
(1)	給付金給付申請書が、5月11日（月曜日）市民の皆さまに発送された。オンライン申請を済まされた方も合わせて事業の進捗状況について伺う。																														
(2)	未申請者の状況をどのようにとらえているのか。																														
(3)	未申請者に再アナウンスするのか伺う。																														
(1)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等による来客数の減少などで影響を受けている小売店、飲食店、理美容店等に対し支援金を交付する支援事業であるが、現状何件の応募があるか伺う。																														
(2)	約1000件の支援を見込んでいるが、現状をどう捉えるのか伺う。																														
(1)	小、中学校の長期休業に伴い学校給食が無くなり、食費の負担が増大したことによる家計圧迫を少しでも支援するためのメニューとして、食費支援名目の支援を検討すべきと考えるが市長の所感を伺う。																														
(1)	新型コロナウイルス感染症専門家会議からの「新しい生活様式」の提言を踏まえ、本市としての、市民のための「新しい生活様式」をお示し頂きたい。																														
(1)	今後の本市の活力再生の力となる人の集まり、これからのにぎわい創出となる本市イベント開催について、民間事業者が開催するイベントを含めた全体的な開催のあり方の考え方と、収容率、人数制限等、出来るだけ具体にお示し頂きたい。																														
(2)	石川県が示したイベント開催制限の段階的緩和について、市長の所感を伺う。																														
(1)	緊急事態宣言の解除に当たって、またこれからの新しい日常について、市民の皆さまがこれからも市長からのメッセージを期待されていると思うが、市長のご所感を伺う。																														
(2)	本市の感染症対応や経済対策を市長から発信することが市民や事業者にしっかり受け止めていただくことになると思うが、市長の所感を伺う。																														
(1)	本市内児童生徒が1人1台タブレット端末を持って学習するまでの「ロードマップ」を教授いただきたい。																														
(2)	ギガスクール構想で子どもたちが1人1台タブレット端末を持ち、情報社会に正面から向き合うことになる。これから子供たちのメディアリテラシー向上のために「スマホやICT端末を使いこなす運動」くらいのことに取り組んでいく必要があると考えるが、市長のご所感を伺う。																														

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
2	質問 (一問一答)	1 梅野 智恵子	1 GIGAスクール構想と本市小中学校におけるICT教育について
			(1) 市内2つの中学校、5つの小学校への学校通信整備工事の着工から終了までのスケジュールを伺います。
			(2) 児童生徒一人一台配備する端末、OSはどこを採用されたのか。その理由を伺います。また、プログラミング教育に耐えられるものか教科書基準とあっているか、教科書の電子書籍化を考えての選定か併せて伺います。
			(3) ICT支援員、アドバイザーの確保とともにGIGAスクールサポーターの活用の有無と、どのように配置され連携をするのか本市の方針を伺います。
			(4) 家庭でのオンライン学習について、就学援助受給世帯に貸し出すモバイルルーターを約350台確保することですが、本市の就学援助受給世帯が約350世帯という理解でよいのか。また、貸し出しは就学援助受給世帯のみとなるのか。各家庭へのニーズ調査をどのようにいつまでに行うのか、また、通信環境が整っていない家庭への対応を伺います。
			(5) これまで市民提案型協働事業で、金沢工業大学と児童を対象にしたプログラミング体験を実施していましたが、今後教育機関とも連携をとり、ICTを活用した本市独自の教育環境創出と家庭への連携も推進していただきたいと考えますが、本市の今後の方針、考えを伺います。
(6) これからのデジタル時代を生きる子供たち、未来を担う子供たちへ向けて、市長の教育への思いを伺います。			
3	質問 (一問一答)	8 西本 政之	1 市内小中学校の全面開校について
			(1) 徹底した3密対策と衛生管理が必要と考えるが、具体的に行っている感染症対策と衛生管理の内容、対策に関して、教育委員会で統一した基準があるのか伺う。 また、感染者が出た場合に再度閉校する基準はあるのか。 さらに、職員室でのソーシャルディスタンスを確保する対策について伺う。
			(2) 新型コロナウイルス対策業務の増加に対応するために、臨時的に人員を増やす必要がある。そのことが雇用創出にもつながると考えるがいかがか。
			2 医療機関への支援について
			(1) 新型コロナウイルス感染患者の入院受け入れを行った白山石川医療企業団に財政的な支援が必要と考えるがいかがか。
			(2) 医療従事者への差別や偏見を解消する、本市独自の取組みが必要と考えるがいかがか。
			3 避難所について
			(1) 新型コロナウイルス感染対策を盛り込んだ、備品の見直しなど、避難所の在り方を再構築すべきと考えるがいかがか。
			4 感染症対策基金について
			(1) 基金の運用方法と用途について伺う。

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																		
4	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<p>1 市部局組織について</p> <table border="1" data-bbox="840 276 1961 715"> <tr> <td data-bbox="840 276 930 492">(1)</td> <td data-bbox="930 276 1961 492">市役所部局組織（5部26課2室53係）の抜本的な改編の時期を迎えている。現在の施策を展開している中、所管の現行課・係では分掌事務の遂行に一部、違和感を覚える。来年度から実施出来るように、また次期総合計画遂行を見据えた部局組織の改編を行うべきと考えるが市長の所見を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 492 930 715">(2)</td> <td data-bbox="930 492 1961 715">特に、今般の新型コロナウイルス関連から、本市にも、まずは「危機管理課」、「営繕課」の創設が必要と考える。また本来市が把握すべき情報に対して、企画課統計情報係が現在取り扱っている情報は乏しいと考える。また、多忙極まる子育て支援課内も分課し専門業務の効率を上げ、責任の所在も明確にする必要があると考えるが市長の所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 野々市市立地適正化計画について</p> <table border="1" data-bbox="840 789 1961 1302"> <tr> <td data-bbox="840 789 930 931">(1)</td> <td data-bbox="930 789 1961 931">居住誘導区域に含まない区域について、本計画の位置付けから農業環境保全ゾーンは計画期間の2040年まで堅持していくのか、または様々な状況に応じて応変していくのか、市長の所見を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 931 930 1154">(2)</td> <td data-bbox="930 931 1961 1154">本計画は2040年までの20年間と非常に長い計画期間である。おおむね5年を1サイクルとした4サイクルで事業成果の進捗をチェックかけていくと思うが、第一四半期とも言える最初の5ヵ年1サイクルの中では、特にどの具体施策を重点的に進めていくのか、市長の所見を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 1154 930 1302">(3)</td> <td data-bbox="930 1154 1961 1302">居住誘導区域外と居住誘導区域内を明確に区別し、区域内に誘導推進を図るため、まちなか・居住誘導区域に住宅を新築・住み替えする奨励金制度を創設すべきと考えるが市長の所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 (仮称) 野々市市子どもの未来応援計画（貧困対策基本計画）を策定せよ</p> <table border="1" data-bbox="840 1377 1961 1561"> <tr> <td data-bbox="840 1377 930 1561">(1)</td> <td data-bbox="930 1377 1961 1561">昨年11月「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定された。本市の特徴から明確な姿勢と確実に実行していくために、アンケート調査等を実施し、状況の把握に努めながら「仮称 野々市市子どもの未来応援計画」を来年度早々に策定を求めるが、市長の所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>4 (仮称) 子ども宅食サービスを検討せよ</p> <table border="1" data-bbox="840 1635 1961 1887"> <tr> <td data-bbox="840 1635 930 1887">(1)</td> <td data-bbox="930 1635 1961 1887">本市の共働き世帯数の特徴を鑑み、学校給食のない長期休業期間、食事を十分に取ることの出来ない子どもたちをサポートするために、子ども達の見守りも兼ねて、希望者の自宅にお弁当を配達する「仮称 野々市市子ども宅食サービス」の事業検討を出来ないか、市長の所見を伺う。市が主体となることで民間企業等が資金的サポートを受けやすい事業になると考える。</td> </tr> </table> <p>5 高齢者世帯住宅・三世帯同居・近居住宅について</p> <table border="1" data-bbox="840 1961 1961 2110"> <tr> <td data-bbox="840 1961 930 2110">(1)</td> <td data-bbox="930 1961 1961 2110">新型コロナウイルス関連の経済復興策の一環として、高齢者世帯住宅、三世帯同居・近居住宅世帯に住宅改修・リフォーム助成金制度を創設し本年9月補正予算に計上出来ないか、市長の所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>6 学園都市ののいちについて</p> <table border="1" data-bbox="840 2184 1961 2484"> <tr> <td data-bbox="840 2184 930 2484">(1)</td> <td data-bbox="930 2184 1961 2484">2大学の立地する本市において、学生生活を本市で過ごすことは大きな活性化になり、地域の賑わいや地域経済の貢献度も高いことから、行政も相応に学生をサポートしていくべきである。 (仮称)「公益財団法人 野々市育英会」を発足し、これからの市内在住の学生や市出身者の就学支援を独自で行っていきける形を是非とも構築していただきたいと考えるが市長の所見を伺う。来年度を目途に市内の社会教育施設の有料化を行い財源母体とし循環型有益モデルとして支え合う仕組みで市民協働の理念に合致すると考える。</td> </tr> </table>	(1)	市役所部局組織（5部26課2室53係）の抜本的な改編の時期を迎えている。現在の施策を展開している中、所管の現行課・係では分掌事務の遂行に一部、違和感を覚える。来年度から実施出来るように、また次期総合計画遂行を見据えた部局組織の改編を行うべきと考えるが市長の所見を伺う。	(2)	特に、今般の新型コロナウイルス関連から、本市にも、まずは「危機管理課」、「営繕課」の創設が必要と考える。また本来市が把握すべき情報に対して、企画課統計情報係が現在取り扱っている情報は乏しいと考える。また、多忙極まる子育て支援課内も分課し専門業務の効率を上げ、責任の所在も明確にする必要があると考えるが市長の所見を伺う。	(1)	居住誘導区域に含まない区域について、本計画の位置付けから農業環境保全ゾーンは計画期間の2040年まで堅持していくのか、または様々な状況に応じて応変していくのか、市長の所見を伺う。	(2)	本計画は2040年までの20年間と非常に長い計画期間である。おおむね5年を1サイクルとした4サイクルで事業成果の進捗をチェックかけていくと思うが、第一四半期とも言える最初の5ヵ年1サイクルの中では、特にどの具体施策を重点的に進めていくのか、市長の所見を伺う。	(3)	居住誘導区域外と居住誘導区域内を明確に区別し、区域内に誘導推進を図るため、まちなか・居住誘導区域に住宅を新築・住み替えする奨励金制度を創設すべきと考えるが市長の所見を伺う。	(1)	昨年11月「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定された。本市の特徴から明確な姿勢と確実に実行していくために、アンケート調査等を実施し、状況の把握に努めながら「仮称 野々市市子どもの未来応援計画」を来年度早々に策定を求めるが、市長の所見を伺う。	(1)	本市の共働き世帯数の特徴を鑑み、学校給食のない長期休業期間、食事を十分に取ることの出来ない子どもたちをサポートするために、子ども達の見守りも兼ねて、希望者の自宅にお弁当を配達する「仮称 野々市市子ども宅食サービス」の事業検討を出来ないか、市長の所見を伺う。市が主体となることで民間企業等が資金的サポートを受けやすい事業になると考える。	(1)	新型コロナウイルス関連の経済復興策の一環として、高齢者世帯住宅、三世帯同居・近居住宅世帯に住宅改修・リフォーム助成金制度を創設し本年9月補正予算に計上出来ないか、市長の所見を伺う。	(1)	2大学の立地する本市において、学生生活を本市で過ごすことは大きな活性化になり、地域の賑わいや地域経済の貢献度も高いことから、行政も相応に学生をサポートしていくべきである。 (仮称)「公益財団法人 野々市育英会」を発足し、これからの市内在住の学生や市出身者の就学支援を独自で行っていきける形を是非とも構築していただきたいと考えるが市長の所見を伺う。来年度を目途に市内の社会教育施設の有料化を行い財源母体とし循環型有益モデルとして支え合う仕組みで市民協働の理念に合致すると考える。
			(1)	市役所部局組織（5部26課2室53係）の抜本的な改編の時期を迎えている。現在の施策を展開している中、所管の現行課・係では分掌事務の遂行に一部、違和感を覚える。来年度から実施出来るように、また次期総合計画遂行を見据えた部局組織の改編を行うべきと考えるが市長の所見を伺う。																	
			(2)	特に、今般の新型コロナウイルス関連から、本市にも、まずは「危機管理課」、「営繕課」の創設が必要と考える。また本来市が把握すべき情報に対して、企画課統計情報係が現在取り扱っている情報は乏しいと考える。また、多忙極まる子育て支援課内も分課し専門業務の効率を上げ、責任の所在も明確にする必要があると考えるが市長の所見を伺う。																	
			(1)	居住誘導区域に含まない区域について、本計画の位置付けから農業環境保全ゾーンは計画期間の2040年まで堅持していくのか、または様々な状況に応じて応変していくのか、市長の所見を伺う。																	
			(2)	本計画は2040年までの20年間と非常に長い計画期間である。おおむね5年を1サイクルとした4サイクルで事業成果の進捗をチェックかけていくと思うが、第一四半期とも言える最初の5ヵ年1サイクルの中では、特にどの具体施策を重点的に進めていくのか、市長の所見を伺う。																	
			(3)	居住誘導区域外と居住誘導区域内を明確に区別し、区域内に誘導推進を図るため、まちなか・居住誘導区域に住宅を新築・住み替えする奨励金制度を創設すべきと考えるが市長の所見を伺う。																	
			(1)	昨年11月「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定された。本市の特徴から明確な姿勢と確実に実行していくために、アンケート調査等を実施し、状況の把握に努めながら「仮称 野々市市子どもの未来応援計画」を来年度早々に策定を求めるが、市長の所見を伺う。																	
			(1)	本市の共働き世帯数の特徴を鑑み、学校給食のない長期休業期間、食事を十分に取ることの出来ない子どもたちをサポートするために、子ども達の見守りも兼ねて、希望者の自宅にお弁当を配達する「仮称 野々市市子ども宅食サービス」の事業検討を出来ないか、市長の所見を伺う。市が主体となることで民間企業等が資金的サポートを受けやすい事業になると考える。																	
			(1)	新型コロナウイルス関連の経済復興策の一環として、高齢者世帯住宅、三世帯同居・近居住宅世帯に住宅改修・リフォーム助成金制度を創設し本年9月補正予算に計上出来ないか、市長の所見を伺う。																	
			(1)	2大学の立地する本市において、学生生活を本市で過ごすことは大きな活性化になり、地域の賑わいや地域経済の貢献度も高いことから、行政も相応に学生をサポートしていくべきである。 (仮称)「公益財団法人 野々市育英会」を発足し、これからの市内在住の学生や市出身者の就学支援を独自で行っていきける形を是非とも構築していただきたいと考えるが市長の所見を伺う。来年度を目途に市内の社会教育施設の有料化を行い財源母体とし循環型有益モデルとして支え合う仕組みで市民協働の理念に合致すると考える。																	

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (総括)	4 向田 誠市	<p>1 各地区公民館全般に関する件</p> <p>(1) 総合教育会議の場において、是非とも、公民館が令和の時代にあった運用がなされているかなど、課題の提示をされるとともに、まちづくり・人づくりの拠点として十分な活用がされるように教育委員会と協議を行って頂きたいと思いますが市長のお考えをお聞きかせ下さい。</p> <p>(2) 指定管理者制度の導入など、公民館の運用及び人事を地域で行って貰う仕組みを構築するお考えを市長にお尋ねします。</p> <p>(3) 本市の第一次総合計画の柱に「市民協働」と「公共の経営」が掲げられています。その集大成の一つとして、地区公民館をコミュニティセンターにして地区の連合町内会に指定管理して貰ってはいかがでしょうか。そうすれば、もっと柔軟で地域の声や実態を反映した幅広い活動が出来ます。また、運営コストも下がり、公民館担当課の業務軽減も出来ます。また、地域の自治意識も高まり、あわせて町内会所管の課も業務軽減ができます。まさしく、地区公民館への指定管理者制度の導入が「市民協働」と「公共の経営」の実証の場となります。地区公民館改革から、地域や市民の力を借りてみませんか。市長のご所見をお伺い致します。</p> <p>(4) 私は、地区公民館以外にも地域団体や市民団体、民間企業などへの指定管理や民営化に移行できる公共施設は他にも有ると思っております。市の財政健全化を図るためにも急務の課題だと考えますが、市長のご所見をお聞かせ下さい。</p>
			<p>2 新型コロナウイルス感染症全般に関する件</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染は終息した訳ではありません。これからも、市民より様々な問い合わせが、健康福祉部関係課等に入って来る事が予測されます。その際、懇切丁寧な対応は必要ありませんが、説明対応により、市民が納得し安心出来る体制をお願いしたいと思いますが、市長のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>(2) 現状、野々市市でPCR検査・抗体検査は無理である。報道機関によりますと、「今年の十一月は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の第二波・第三波と重なるのでは。」との予測発表がなされています。本市と医療機関との連携体制が必要だと思いますので、県へ要望して頂きたいと思いますが、市長のお考えをお伺いします。</p> <p>(3) 今回の、新型コロナウイルス感染症対策に対して、市民より市長のところにも、苦情や激励のメッセージが届いているのではないのでしょうか。私達のところにも、数多くのメッセージが届いております。そこで、四月十九日のテレビに出演されていた政治評論家の文言をお話しして、文言に対する市長のご所見をお伺いし、私の一般質問を終わります。「選挙で選ばれた全ての議員は、国民お一人お一人の一票に、“命”が託されている事を忘れてはならない！首長たるもの、自らの命をかけて国・市民の命を守るよう逸早く物事に対し、決断決行し、謝罪する心得を持つ！」</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																								
6	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 高齢者への緊急情報伝達に有効な防災ラジオの導入について</p> <table border="1" data-bbox="840 276 1963 706"> <tr> <td data-bbox="840 276 924 359">(1)</td> <td data-bbox="924 276 1963 359">防災ラジオ導入の検討はされているのか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 359 924 507">(2)</td> <td data-bbox="924 359 1963 507">新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、毎日、防災行政無線で注意を呼び掛けていたが、放送を聞き取りやすくするためにどのような工夫をしたのか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 507 924 626">(3)</td> <td data-bbox="924 507 1963 626">敬老会の記念品として、防災ラジオを無償で頒布して、高齢者が安心して過ごせるようにしてはどうか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 626 924 706">(4)</td> <td data-bbox="924 626 1963 706">防災ラジオの導入に向けた今後の取り組みについて伺う。</td> </tr> </table> <p>2 コミュニティバス「のっティ」のICT化による生活の利便性向上</p> <table border="1" data-bbox="840 780 1963 1003"> <tr> <td data-bbox="840 780 924 1003">(1)</td> <td data-bbox="924 780 1963 1003">新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、コミュニティバス「のっティ」は減便運行している。ICTの活用で運行維持を図り、生活の利便性向上につなげてほしいが、市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 自治体が競うスタートアップ（成長型起業家）支援に取り組んではどうか</p> <table border="1" data-bbox="840 1077 1963 1225"> <tr> <td data-bbox="840 1077 924 1225">(1)</td> <td data-bbox="924 1077 1963 1225">産学官金の連携でスタートアップ（成長型起業家）の育成に力を入れて、国の集中的な支援を受けることで、日本海側の発展に寄与してはどうか。</td> </tr> </table> <p>4 「母の日」と同じように「父の日」を互いに感謝し合う日にしてはどうか</p> <table border="1" data-bbox="840 1299 1963 1819"> <tr> <td data-bbox="840 1299 924 1522">(1)</td> <td data-bbox="924 1299 1963 1522">親から子への暴力、体罰の連鎖を断ち切るために、親の体罰を制止できるように、5月の「母の日」同様に、6月の「父の日」を、お互いに感謝の伝えられる日と位置づけ、学校や野々市市全体で盛り上げていきたいが、市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 1522 924 1670">(2)</td> <td data-bbox="924 1522 1963 1670">児童虐待防止に向けた取り組みを、特に新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言が出された後の対策としてはどのように行ってきたのか伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 1670 924 1819">(3)</td> <td data-bbox="924 1670 1963 1819">学校再開に向けて、全く違った経験や体験をした子どもたちの、緊急事態宣言解除後における心的ケアをどのような形で対応しようとしているのか伺う。</td> </tr> </table> <p>5 ふるさと納税を活用した地域活性化策</p> <table border="1" data-bbox="840 1893 1963 2264"> <tr> <td data-bbox="840 1893 924 2116">(1)</td> <td data-bbox="924 1893 1963 2116">新たに、目的を明確にして起業する人を応援することを明記した上でふるさと納税をお願いしてはどうか。資金面での補助制度を創設し、商工会等を通じて個別相談に応じることで、3本の矢で起業する人を支える仕組みができると考えるが、市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="840 2116 924 2264">(2)</td> <td data-bbox="924 2116 1963 2264">ふるさと納税の活用と、広く全国から知恵と企画を一緒に募集し、温泉資源で地域活性化を図ってみてはどうか。</td> </tr> </table> <p>6 今後の図書館運営について</p> <table border="1" data-bbox="840 2338 1963 2499"> <tr> <td data-bbox="840 2338 924 2499">(1)</td> <td data-bbox="924 2338 1963 2499">今後の図書館の通常時間での開館やサービス制限の解除はどのように考えているのか伺う。新型コロナウイルス感染症の経験を生かした、今後の図書館サービスの在り方について、市長の見解を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	防災ラジオ導入の検討はされているのか。	(2)	新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、毎日、防災行政無線で注意を呼び掛けていたが、放送を聞き取りやすくするためにどのような工夫をしたのか。	(3)	敬老会の記念品として、防災ラジオを無償で頒布して、高齢者が安心して過ごせるようにしてはどうか。	(4)	防災ラジオの導入に向けた今後の取り組みについて伺う。	(1)	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、コミュニティバス「のっティ」は減便運行している。ICTの活用で運行維持を図り、生活の利便性向上につなげてほしいが、市長の見解を伺う。	(1)	産学官金の連携でスタートアップ（成長型起業家）の育成に力を入れて、国の集中的な支援を受けることで、日本海側の発展に寄与してはどうか。	(1)	親から子への暴力、体罰の連鎖を断ち切るために、親の体罰を制止できるように、5月の「母の日」同様に、6月の「父の日」を、お互いに感謝の伝えられる日と位置づけ、学校や野々市市全体で盛り上げていきたいが、市長の見解を伺う。	(2)	児童虐待防止に向けた取り組みを、特に新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言が出された後の対策としてはどのように行ってきたのか伺う。	(3)	学校再開に向けて、全く違った経験や体験をした子どもたちの、緊急事態宣言解除後における心的ケアをどのような形で対応しようとしているのか伺う。	(1)	新たに、目的を明確にして起業する人を応援することを明記した上でふるさと納税をお願いしてはどうか。資金面での補助制度を創設し、商工会等を通じて個別相談に応じることで、3本の矢で起業する人を支える仕組みができると考えるが、市長の見解を伺う。	(2)	ふるさと納税の活用と、広く全国から知恵と企画を一緒に募集し、温泉資源で地域活性化を図ってみてはどうか。	(1)	今後の図書館の通常時間での開館やサービス制限の解除はどのように考えているのか伺う。新型コロナウイルス感染症の経験を生かした、今後の図書館サービスの在り方について、市長の見解を伺う。
			(1)	防災ラジオ導入の検討はされているのか。																							
			(2)	新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、毎日、防災行政無線で注意を呼び掛けていたが、放送を聞き取りやすくするためにどのような工夫をしたのか。																							
			(3)	敬老会の記念品として、防災ラジオを無償で頒布して、高齢者が安心して過ごせるようにしてはどうか。																							
			(4)	防災ラジオの導入に向けた今後の取り組みについて伺う。																							
			(1)	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、コミュニティバス「のっティ」は減便運行している。ICTの活用で運行維持を図り、生活の利便性向上につなげてほしいが、市長の見解を伺う。																							
			(1)	産学官金の連携でスタートアップ（成長型起業家）の育成に力を入れて、国の集中的な支援を受けることで、日本海側の発展に寄与してはどうか。																							
			(1)	親から子への暴力、体罰の連鎖を断ち切るために、親の体罰を制止できるように、5月の「母の日」同様に、6月の「父の日」を、お互いに感謝の伝えられる日と位置づけ、学校や野々市市全体で盛り上げていきたいが、市長の見解を伺う。																							
			(2)	児童虐待防止に向けた取り組みを、特に新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言が出された後の対策としてはどのように行ってきたのか伺う。																							
			(3)	学校再開に向けて、全く違った経験や体験をした子どもたちの、緊急事態宣言解除後における心的ケアをどのような形で対応しようとしているのか伺う。																							
			(1)	新たに、目的を明確にして起業する人を応援することを明記した上でふるさと納税をお願いしてはどうか。資金面での補助制度を創設し、商工会等を通じて個別相談に応じることで、3本の矢で起業する人を支える仕組みができると考えるが、市長の見解を伺う。																							
			(2)	ふるさと納税の活用と、広く全国から知恵と企画を一緒に募集し、温泉資源で地域活性化を図ってみてはどうか。																							
			(1)	今後の図書館の通常時間での開館やサービス制限の解除はどのように考えているのか伺う。新型コロナウイルス感染症の経験を生かした、今後の図書館サービスの在り方について、市長の見解を伺う。																							

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策と市民の暮らしを守る施策について</p> <p>(1) 国内では「緊急事態宣言」が解除されたが、世界を見るとあらたな感染拡大地域も出てきており、ワクチン、治療薬が市場に出回るまで次の感染拡大の波に備える必要がある。また、すぐに雇用が改善し、客足が戻り売り上げが元に戻るわけではなく、日本経済も依然として厳しい状況が続くなか、市として、引き続き市民の暮らしを支えるためにどのような支援策を考えているのか。たとえば、子育て世帯、派遣切りで苦境にあるシングルマザー世帯への生活支援、中小零細業者への事業継続緊急支援を一回きりではなく継続しておこなうことも必要なのではないかな。</p> <p>(2) 上水道料金の基本料金免除に加え、下水道料金の基本料金も免除できないか。</p> <p>(3) 民間企業で来年新卒者の採用が大きく減ることが予想される。市ができることとして、学校の養護教諭や臨時講師、校務員のほか、他の業務でも職員の採用を増やすことはできないか。</p> <p>(4) 市民の新型コロナウイルスの感染不安にどう応えるかが問われている。発熱外来を設けることやPCR検査、抗体検査をしてほしいという市民の声に応えるためにも公立松任石川中央病院の体制整備について、白山石川医療企業団、白山市、川北町と協議する場を持つ考えはないか。</p> <p>(5) 医療従事者や介護従事者は、自身が感染し、患者・利用者に感染させないかと危険を感じながら誇りを持って頑張っている。市として、市内の医療機関、介護・福祉施設に医療用マスクや防護服、フェイスシールド等の支援をしてはどうか。</p> <p>(6) 学生のアルバイト収入がすぐに元に戻らない。学生調査でも、授業料、アパート代、食費等負担が重くのしかかり、退学を考えている学生も少なくない。学園都市にふさわしく大学生、専門学生に市独自の支援策を講じる考えはないか。</p> <p>(7) 雨と台風の季節を迎えようとしている。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、従来通りの避難所の開設方法では新型コロナウイルスの感染やクラスター化を防ぐことはできないのではないかな。たとえば、人と防災未来センター研究員の高岡誠子氏のレポート「避難所開設での感染を防ぐための事前準備チェックリスト」を参考に市の体制を整える必要があるのではないかな。</p> <p>2 安全・安心の学校生活の実現へ、新型コロナウイルス感染リスクを抑え、ゆとりを持った学級と学習を保障するための対策について</p> <p>(1) 教室における3密を防ぐためにも、一クラス20人以下の少人数学級の実現を目指す必要があるのではないかな。また、市長会を通して国に強く働き掛けていくことも必要ではないかな。</p> <p>(2) 発熱等感染が疑われる児童・生徒が出た場合に備え、保健室の体制を整備するとともに、保健所・医師会と連携し、保健室での詳細な対応マニュアルを作成することが必要なのではないかな。また、発熱等感染が疑われる児童・生徒が出た場合、待機隔離する場所を確保する必要があるのではないかな。</p> <p>(3) 高校受験を控えた中学3年生は長期にわたる休校で受験への不安が大きい。整備されるインターネット環境を生かしての学習支援など、特別のサポート体制を検討できないか。</p> <p>(4) 児童生徒一人に一台ノートパソコンが使えるようになるが、生活保護世帯、シングルマザー世帯、就学援助受給世帯にとって毎月の通信費の負担は重い。児童生徒に等しく学べる機会を保障するためには公的支援が不可欠ではないかな。</p> <p>(5) 長期の自宅待機で児童生徒の心身のストレス蓄積の悪影響は計り知れない。教科の勉強だけが“学び”ではなく、児童生徒は運動会や校外学習など、様々な行事を楽しみにしている。また、これらの行事を通して児童生徒は成長していくのではないかな。授業優先で「すべての行事なし」とならないようにする必要があるのではないかな。</p>